

2025年5月13日

各位

株式会社北洋銀行

株式会社北海道共創パートナーズ

株式会社井上技研様の『SDGsコンサルティング』のご利用について

北洋銀行（取締役頭取 津山 博恒）と子会社の株式会社北海道共創パートナーズ（代表取締役社長 岩崎 俊一郎）は、お客さまのSDGs経営への取り組みを支援するため「SDGsコンサルティング」を提供しています。今般、株式会社井上技研様（北海道札幌市、代表取締役 犬嶋 清幸様）が本サポートを利用し『サステナビリティ経営方針』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がSDGsへの取り組みを推進しています。

北洋銀行グループは今後も、北海道の地域金融機関として道内のSDGs促進・普及に貢献するために、お客さまのSDGsへの取り組みを支援してまいります。

記

会社概要

会 社 名	株式会社井上技研
所 在 地(本社)	札幌市東区北14条東8丁目3-1 5F
代 表 者	代表取締役 犬嶋 清幸
業 種	建設業

※サステナビリティ経営方針の詳細は別紙をご参照ください。

以 上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。

サステナビリティ経営方針

私たちは、建築という仕事を通して、真の多様性の取り組み、ジェンダーフリーを実現させる企業で在ると共に、環境影響を考慮した事業活動を推進します。
社員全員がプロフェッショナルの矜持を保ち、お客様と共に豊かになり、
全てのステークホルダーとの絆を深め、地域に貢献できる存在を目指します。

パーパス

空間を創る 人が輝く 社会を彩る

ミッション

働く人、暮らす人が快適で充実した時間をつむぐための建物を提供する

ビジョン

私たちの札幌・北海道で「建築」を通して、お役に立てる会社であり続け、
社会と伴奏していく会社

バリュー

個性がきらめく想像力 社会でつむぐ奏贈力 未来へつなげる創造力

事業に影響を与える環境変化

重要課題（マテリアリティ）

取組内容

主なステークホルダー

環境

- 脱炭素に向けた社会変化
- 自然災害の激甚化
- 自然保護への規制強化
- 循環経済の加速

道民の暮らしと生活を豊かに彩る

社会

- 人口減少・少子高齢化
- 価値観やライフスタイルの変化
- 世帯構造・社会構造の変化
- 働き方改革の進展

IT/DX化による業務効率化

経済・ガバナンス

- サプライチェーンの見直し
- 新型コロナによる産業構造の変化
- 消費者の情報収集経路及び嗜好の多様性
- 企業の社会的責任に対する重要性の高まり

社員の物心両面を豊かにする

技術

- DXの進展
- 技術革新

環境配慮型の建築事業の推進

成長戦略と経営基盤の構築

リスクマネジメントの強化

- 新しい体験機会の提供
- 提案時の建築物企画力の向上
- 完工後の顧客満足度の向上

- 取引先
- 行政
- 地球環境
- 各種団体・専門機関
- 地域社会

- 現場業務の生産性向上
- バックオフィス業務の効率化

- 社員/その家族
- 地球環境

- ワークライフバランスの向上
- 積極採用による労働力の確保
- 女性活躍の更なる推進

- 社員/その家族
- メディア

- 環境に配慮した資材仕入
- 環境配慮型の建築物の推進
- CO2排出量削減

- 地域社会
- 行政
- 地球環境

- 成長ロードマップの策定
- 管理会計の高度化
- 次世代の経営幹部の養成

- 社員/その家族
- 金融機関

- 情報漏洩リスクに対する予防
- BCP対応の確立
- コンプライアンスの強化

- 社員/その家族
- 取引先
- 金融機関

サステナビリティ経営への取り組み

私たちは、経営の客観性・透明性を高め、コンプライアンス体制の強化・充実を推進することを通じて、企業価値の向上を目指します。

サステナビリティ活動

- 中期経営計画の立案、単年度事業計画の立案
- メンテナンス・アフターフォローの強化
- 安全教育の徹底
- 働き方改革への対応

重要課題	取組内容	KPI	目標年度	目標数値	関連するSDGs
道民の暮らしと生活を豊かに彩る	新しい体験機会の提供	自社HP・SNSの発信回数	2025	月1件	4質の高い教育をみんなに 8働きがいも経済成長も 9産業と技術革新の基盤をつくろう 11住み続けられるまちづくりを 12つくる責任つかう責任 17パートナーシップで目標を達成しよう
		ドローンでの現場風景動画の撮影数	2026	毎回 (大型工事のみ)	
	提案時の建築物企画力の向上	役職者別の研修実施回数	2025	月1回	
		品質維持向上施策の実施件数	2025	月1回	
	完工後の顧客満足度の向上	過去受注先キーマンとの面談回数	2025	年1回	
		アフターフォロー実施数	2025	年1回	
IT/DX化による業務効率化	現場業務の生産性向上	ドローンパイロットの資格取得者数	2025	年1名	8働きがいも経済成長も 9産業と技術革新の基盤をつくろう 12つくる責任つかう責任
		現場業務生産性改善策立案数	2025	年1回	
		工事部残業削減時間	2026	月10時間	
	バックオフィス業務の効率化	積算システム利用人数割合	2028	60%	
		総務部残業削減時間	2026	年10時間	
		効率化検討会議実施数	2026	年2回 (春・秋)	
成長戦略と経営基盤の構築	成長ロードマップの策定	分科会の実施回数(事業計画)	2025	月1回	8働きがいも経済成長も 9産業と技術革新の基盤をつくろう 17パートナーシップで目標を達成しよう
	管理会計の高度化	管理会計高度化の検討会実施回数	2026	月1回	
	次世代の経営幹部の養成	部門目標の達成率(部長クラス以上)	2025	100%	
		管理職候補向け研修実施回数	2027	年4回	
リスクマネジメントの強化	情報漏洩リスクに対する予防	情報漏洩件数	2025	0件	8働きがいも経済成長も 11住み続けられるまちづくりを 16平和と公正をすべての人に
	BCP対応の確立	年間の伝達講習会の開催数	2027	1回	
		講習会参加率	2027	100%	
	コンプライアンスの強化	不祥事故件数	2025	0件	

サステナビリティ経営への取り組み

私たちは、持続可能な世界を目指し、社会からの期待に応え、企業市民としての責任を果たすために人権を尊重し、誰もが安心して働ける環境をつくとともに、事業を通じた社会への還元を行っています。

重要課題	取組内容	KPI	目標年度	目標数値	関連するSDGs
社員の物心両面を豊かにする	ワークライフバランスの向上	有給休暇取得率	2026	70%	   
	積極採用による労働力の確保	採用者数	2026	年3名 (新卒:2名、 中途:1名)	
	女性活躍の更なる推進	非管理職の女性比率	2030	30%	
		管理職の女性比率	2030	15%	

私たちは、地球環境問題を経営上の重要な課題の一つとして認識し、再生可能エネルギーが求められる中、持続可能な社会の実現に向け、事業活動において環境保全および汚染の予防に取り組めます。

重要課題	取組内容	KPI	目標年度	目標数値	関連するSDGs
環境配慮型の建築事業の推進	環境に配慮した資材仕入	環境負荷軽減資材の使用割合	2030	70%	    
	環境配慮型の建築物の推進	環境配慮型の建築物の受注数	2028	年2棟	
	CO2排出量削減	社有車の電気自動車比率	2030	70%	
		CO2排出量削減率	2030	2025年対比で 20%削減	

サステナビリティ活動

- 女性社員の積極採用
- 新卒採用の強化
- 若年層へのフォロー体制

サステナビリティ活動

- 環境に配慮した資材の使用
(高遮熱性・化学物質を含まない塗料、FSC森林認証を受けた木材など)
- 工事現場における廃棄物削減、有効利用
- 使用帳票のペーパレス化
- LED照明の導入